



## 第9回山口県集落営農法人連携協議会 通常総会・研修会を開催

平成29年4月17日、山口市の県JAビルで標記総会・研修会を開催しました。

本年度は『次代へつなぐ集落営農～新規就業者の受入・定着可能な経営を目指して～』をメインテーマに掲げ、集落営農法人の経営安定と後継者確保、法人間の連携強化等に取り組むことを決定しました。

なお、出席法人数は委任状出席を含め160法人、総出席者数は168名となりました。



### <法人協：山本会長あいさつ>

開会にあたり、主催者を代表して本協議会の山本勉生会長が次のとおり挨拶を行いました。

- 現在、県下で250の集落営農法人が設立され、本協議会はその約8割に当たる195法人で構成しており、加盟数200法人の突破も目前に迫っています。経営課題の解決、農業・農村の持続的な発展に向け、会員同士の連携強化、新設法人への支援等に積極的に取り組んで参ります。
- 昨今の農業を取り巻く環境は、集落内・外ともに厳しい状況が続いています。農業者の高齢化、担い手不足はご案内のとおりであり、農産物価格の低迷、貿易自由化による農業分野への影響懸念など、生産現場には大きな不安が広がっています。
- こうしたなか、毎年、農業への志をもって、新規就業する若手農業者がいます。これからの農業・農村をけん引していく貴重な存在であるため、法人協としても研修会や意見交換の場の設定など、農業に従事していくうえ有益な機会を提供していきます。
- 併せて、法人間の連携強化による経営の効率化など、若手農業者を確保でき、厳しい経営状況を乗り越えていける体制を構築できることを切に願っています。



▲山本会長（法人協）

### <県農林水産部：河村部長あいさつ>

来賓である山口県農林水産部の河村邦彦部長より、次のとおり祝辞をいただきました。

- 「やまぐち農林水産業活力創出行動計画」の目標突破や地方創生の加速・深化に向け、実効性の高い施策をスピード感を持ち重点的に推進していきます。



▲河村部長（県）

- 特に、本県農業の中核となる集落営農法人については、複数の法人が連携する「集落営農法人連合体」の育成に加え、次世代を担う経営マインドに優れた経営者を育成する「やまぐち尊農塾」の開講等、将来にわたり持続可能な体制づくりを支援していきます。
- さらに、新規就業者の確保・定着に向けた「担い手支援日本一」対策の拡充や園芸品目等の高品質化・ブランド化等、農業の成長産業化に向け取り組みを進めます。

## <中央会：山本会長あいさつ>

同じく来賓である山口県農業協同組合中央会の山本伸雄会長より、次のとおり祝辞をいただきました。

- JAグループ山口は、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標に掲げる自己改革の実践と併せ、「県下1JA構想」の実現に向け鋭意取り組みを進めています。
- 県域合併においては、スケールメリットの創出により、営農指導員300名体制の実現による出向く体制の構築、販売専門部署の設置による有利販売の実現、品目の集約等による生産資材価格の低減等、組合員・地域住民の皆様から選ばれるJAをめざしていきます。
- 貴協議会においては、会員法人の経営安定・発展に向けた研究会の設置や、次の世代への経営承継の取り組みとして若手法人就業者のサークル活動（百姓錬磨の会）など多様な活動を展開されています。これらの取り組みに対し、これまで以上に組織の総力を挙げ支援していきたいと考えています。



▲山本会長（中央会）

## <議 事>

議事では、本協議会の山本会長が議長を務め、第1号議案から第3号議案の全てが満場一致で承認されました。

- 【第1号議案】平成28年度活動報告および収支決算について
- 【第2号議案】平成29年度活動計画および収支予算について
- 【第3号議案】平成29年度会費について

また、去る4月6日に開催した第1回役員会において、以下のとおり新役員を選出を行い、本総会終了後より新体制へ移行することを報告しました。

### << 新役員体制 >>

- 【会 長】中村 久  
(農事組合法人 中辺)
- 【副会長】藤本 幸一  
(農事組合法人 ウエスト・いかち)
- 【監 事】末永 孝義  
(農事組合法人 ゆや中畑)



▲左から、末永監事、藤本副会長、中村会長

## <平成 28 年度山口県集落営農法人優良経営体表彰>

総会では、去る3月23日に開催した「平成28年度集落営農法人優良経営体表彰審査会」において「県知事賞」「中央会会長賞」「協議会会長賞」に推薦された3法人への表彰式を行いました。

表彰式に先立ち、審査委員長を務めた広島経済大学の山本公平教授が、推薦法人についての審査講評を述べられました。



▲審査講評する山本教授

【県知事賞】農事組合法人 川西  
(JA山口中央管内)

【中央会会長賞】農事組合法人 第13営農組合  
(JA山口美祢管内)

【協議会会長賞】農事組合法人 宇内薬師の里  
(JA下関管内)



▲左から、(農)川西の小林代表理事、(農)第13営農組合の河野代表理事、(農)宇内薬師の里の河地代表理事

また、平成27年度の同表彰で県知事賞に輝いた農事組合法人河原が、平成28年度全国優良経営体表彰において「全国担い手育成総合支援協議会長賞」を受賞した旨を併せて紹介しました。

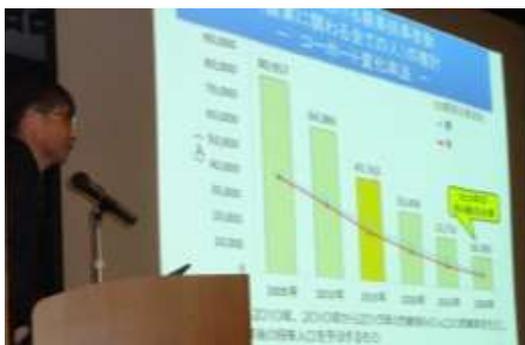
## <山口県集落営農法人連携協議会研修会>

通常総会に引き続き、同会場において「山口県集落営農法人連携協議会研修会」を開催しました。

研修会では、県知事賞に輝いた農事組合法人川西の小林紀代士代表理事より、自法人の取り組みとして、農産物の契約栽培や新規就業者の確保・育成等について事例発表をいただきました。



▲事例発表を行う小林代表理事



▲研究発表を行う高橋専門研究員

また、山口県農林総合技術センターの高橋専門研究員より、農業法人における若手就業者の定着支援の取り組みについて研究発表をいただきました。

発表のなかで、従事者の満足度を高めることが長期就業につながることや、そのための環境整備の必要性等について説かれました。